

校長が考える学校経営の「一歩先へ!」を実現するためには、

「とりあえずスタートしてから」では遅くなります!

校長には、学校経営のビジョンをもち、豊かな発想や戦略をもとに課題解決に取り組み、児童生徒のよりよい成長を実現することが求められています。学校経営における目標を明確にもち、組織を動かして教職員との共通理解のもと取組を進めることが大きな成果につながります。学校経営者としてよいスタートを切るためには、次の4つのポイントが重要です。

まず、課題の把握・共有!

- ①学校の強みや弱みの把握
- ②強みの強化や弱みの補強・克服に向けた対策
- ③取組の焦点化・重点化（今年度の目玉はこれ!）
- ④取組の積極的な打ち出し、発信

今が

【校長の本気度を示す時】
**『校長が変われば、
学校が変わる!』**

このためのツールとしてAPを活用

新任・転任の校長先生は、着任直後で非常に多忙な日々をお過ごしと思います。なかなか落ち着いて学校経営ビジョンや戦略を見直すことができにくいかもしれません。しかし、最初が肝心です。「こんな学校にしたい!」という強い思いをもって、**前任の校長先生のAPを見直し、
自分のもの**にしてください。

ご相談がありましたら、

学校経営AD

河野まで。

(0868)24-8705